

第 2 次船橋市文化振興基本方針 個別事業評価シート

事業名	令和 5 年度市所蔵作品展「フナバシストーリー 北井一夫」				
担当課	文化課	担当者	益子	連絡先	2888

第2次基本方針における事業の位置付け

最も該当する基本目標	I 気づき始まる
最も該当する施策	I 気づき始まる 施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供
関連目標・施策	III 育みつながる 施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実

事業の概要

開催年度	平成13年度		
開催経緯	平成13（2001）年に「清川記念館収蔵展」を開催して以来、平成19（2007）年までに4回、平成21（2009）年に「船橋市所蔵作品展」と改めてからは毎年市所蔵美術品を紹介している。		
事業目的	市所蔵作品を展示、関連イベントを実施することで、地域の美術作品、アートに触れ、「ふるさと船橋」へ親しみを抱く機会を創出する。		
定性目標	展覧会やその関連イベントを通じて、市民が地域のアートに親しみ、文化的な理解を深め、「ふるさと船橋」への愛着を抱く機会を創出することを目指す。		
定量目標	過去の展覧会の実績・会期・内容を踏まえて入場者数を設定し、それを超えることを目指す。		
対象	市民		
事業内容	・ 船橋市民ギャラリーを会場に市所蔵作品を展示 ・ 関連イベント（学芸員によるギャラリートークなど）の実施 ・ 見学会の実施 ・ 図録の発行		
実施主体	市／（公財）船橋市文化スポーツ公社	市との関わり	主催
情報発信	■ 広報ふなばし ■ HP ■ チラシ ■ ポスター ■ Facebook ■ X ■ その他（バーチャル美術館）		

経年

年度	令和2年度 （決算）	令和3年度 （決算）	令和4年度 （決算）	令和5年度 （決算）	令和6年度 （予算）
事業費＝決算額	7,988,284	2,561,691	4,467,994	3,319,535	1,836,800
市予算	7,988,284		1,438,900	2,030,215	588,800
補助金・協賛金等		2,211,391	2,962,094	1,289,320	1,248,000
その他（ ）		350,300	67,000		
人工（常勤職員）	2	1	1	2	2
人工（会計年度任用職員）	0	0	2	3	3
その他人工（文化スポーツ公社）	4	4	4	4	
定量目標値	アンケート回収100枚	アンケート回収100枚	入場者数1,500人	入場者数2,000人	入場者数1,500人
定量目標値の設定根拠				過去の所蔵作品展の実績から（会期・内容を踏まえて）	過去の所蔵作品展の実績から（会期・内容を踏まえて）
定量実績値	144枚	138枚	1,599人	2,602人	
【%の場合は計算根拠も記入】 Ex.来場者〇人 アンケート回収数〇 アンケート回収率〇%					
事業内容 ※現年度は計画	令和2年度船橋市所蔵作品展「椿貞雄と清川コレクション」 【会期】令和2年12月2日～12月23日 21日間【会場】船橋市民ギャラリー（全館） 【入場者数】2,015人	令和3年度船橋市所蔵作品展「荒井恵子－船橋三部作 宝成寺・三番瀬・玉川旅館」 【会期】令和3年12月7日（火）～19日（日） 13日間【会場】船橋市民ギャラリー（全館）【入場者数】1,971人	令和4年度船橋市所蔵作品展「磯田長秋－船橋で時を描いた日本画家－／笠木絵津子「私の知らない母」／船橋小学校創立150周年記念アート体験プロジェクト わたしたちのまちの過去図/未来図～“時空写真”をつくろう～」【会期】令和4年12月7日～（水）18日（日）12日間【会場】船橋市民ギャラリー 全館【入場者数】1,599人	令和5年度船橋市所蔵作品展「フナバシストーリー 北井一夫」 【会期】令和5年12月6日（水）～24日（日）19日間【会場】船橋市民ギャラリー（全館）【入場者数】2,602人	「令和6年度 アレも、コレも、船橋市所蔵作品展－ふなばしアートカードになりました－」【会期】令和6年12月4日（水）～15日（日）12日間【会場】第1～3展示室、第1ホール
定性目標の実績について 経緯・変遷	毎年度、2,000人前後の入場者数があり、アートを通して、市民が文化的な理解と船橋市への愛着を育む機会を生んでいる。 また、学校と連携し、市所蔵作品展に絡んだ授業を展開することで、子ども達に「ふるさと船橋」に親しみを抱く機会を創出している。				

自由記述 (これまでの欄で書き切れない 内容・特に推したい年度の事業 P R・補足説明等、自由に記入 する。)	●市内小中学生による「私の船橋ストーリー」展を同時開催、学校との連携を図る ●過去最多の入場者数 ●アンケート回収145枚（展覧会：79枚／イベント：66枚）（アンケート回収率5.6%） ●図録が完売（240部） ●本展覧会が評価され、北井一夫氏が第40回写真の町東川賞「飛騨野数右衛門賞」を受賞
---	--

事業評価

評価対象年度	令和5年度
評価実施年度	令和6年度

事業所管課による一次評価

1：目標を大幅に下回ってしまった。 2：目標をやや下回ってしまった。 3：おおむね目標通りに達成できた。
4：目標をやや上回る実績が得られた。 5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

定性評価	評価項目	定性目標の達成度				
		1 □	2 □	3 □	4 □	5 ■
	評価理由	令和5年度は「フナバシストーリー」を題材としたこともあり、写真や座談会を通して、当時の船橋を懐かしむ方や、 当時を知らない現代の子供も日常を思い出すなど、「ふるさと船橋」への愛着と親しみを共有する場となった。 展覧会場に設置されたアンケートが79枚も回収されることは非常に珍しく、「大変よかった」が80%、「良かった」 が17.3%、その他は未回答と、多くの人が展覧会を楽しんでくれたことがわかった。				

定量評価	評価項目	定量目標の達成度				
		1 □	2 □	3 □	4 □	5 ■
	評価理由	過去最多の入場者数となったため。				

文化振興推進協議会に 助言・提案を求めたいこと (何が課題か、どのような助言 を求めたいか、明確に記入する こと)	課題				
	令和5年度所蔵作品展は一定の成果を挙げることができたが、「所蔵作品展」は市民ギャラリーの指定管理者である公 園協会（旧文化・スポーツ公社）の提案事業であるため、作品の所管や展覧会を企画する学芸員の所属が文化課であ れ、指定管理者の方針・都合により運営が左右される。また、市民ギャラリーは貸しスペースであるため、市民の展 示利用が優先され、長期の開催が難しい。				
	求めたい助言				
	多くの美術館のように2,3か月あれば、さらに多くの市民が鑑賞することができるだろう。安定的な運営、長期的な展 示をするためにはどうすればよいか。				

文化振興推進協議会委員による二次評価（文化振興推進協議会にて協議）

事業に対する評価・ 今後の事業展開への 助言・提案	
---------------------------------	--